

事業所名 児童発達支援センター おひさま

支援プログラム

作成日 2024年 12月 1日

法人(事業所)理念		地域のために 地域とともに		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・3つのつながり(親子、人、地域)を大切にします。 ・それぞれの親子の良さを見つけ、肯定します。 		
営業時間		8時 30分から 17時 30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に健康状態の把握(看護師)をします。その日までにあった出来事や体調の変化など、連絡ノートを用いて共有していきます。 ・親子教室にて、週に1回(毎週木曜日)嘱託医(小児科医)の健康観察と健康相談を行います。 ・親子教室にて2ヶ月に1回、身体測定を実施します。 ・身辺自立(排泄、着脱など)に向けた支援を行います。 ・昼食、おやつを通した食育を行います。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・大型遊具やボールなどを使用した運動遊びを通して、体の使い方を学べるように支援します。 ・制作活動を通して様々な素材に触れながら、手先を使用していけるように支援します。 ・粘土やスライムなど、様々な感触に触れる経験ができるようにします。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・受付にて今日のノートの日付欄にシールを貼ることで手と目の協応を促すことや、日にちや曜日について理解ができるように支援します。 ・絵本やおやつ、制作、机上活動などを通して文字や数字に触れる機会を作ります。 ・音楽遊びやふれあい遊び、リズム遊びを通して聴覚を活用する発達を促します。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・集いにて挨拶や呼名の返事を行い、当番活動を通して自分の名前や年齢、好きなことを発表することや質問をする機会を作ります。 ・参加型絵本やペプサートを使用し、言葉の習得や身体を使った表現(ジェスチャー)またそのやり取りの経験ができるようにします。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動の中で他者とのやり取りの仕方や、適切な言動を学べるように支援します。 ・気持ちの切り替え方やコントロールの仕方を学べるように支援します。 ・集団遊びや活動を通して、みんなで過ごすためのルールを知り、守りながら参加できるように支援します。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な勉強会を開いています。(ペアレントトレーニング、同じ疾患の子どもを持つ親の会【ダウン症】、就園勉強会、就学前勉強会、感染症について) ・教室での様子を保護者に報告し、必要に応じて聴き取りを行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や情報共有を行います。 ・他関係機関との連携を図り、支援体制を構築します。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と情報共有を行っています。(廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ、地域の相談支援事業所、子育て応援室、保育所等訪問支援、自立支援協議会、廿日市市要保護児童及びDV防止対策地域協議会) ・実習生の受け入れを行っています。(保育士、看護師養成学校) 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内外の勉強会への参加を行っています。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事(夏祭り、ハロウィン会、クリスマス会など) 		